

# 平成 2 8 年度 学校関係者評価報告書

大阪市立西高等学校 学校協議会

## 1 総括についての評価

・学校運営に関しては、さまざまな取り組みを行い、概ね順調にその成果が出ていることがうかがえる。今後も引き続き、落ち着いた環境で生徒が安心して通学し、充実した学校生活を送れるような学校運営に努めてもらいたい。

## 2 年度目標ごとの評価

### 年度目標【視点：学力の向上】

・さまざまな取り組みについて、ほぼ当初目標どおりの結果・成果をあげていることを評価したい。生徒の状況やニーズにあわせたさらなる充実を期待したい。

### 年度目標【視点：道徳心・社会性の育成】

・生徒に対して地道な努力を積み重ね、ていねいに取り組みを進められていることがよく理解できた。今後も引き続きさまざまなアプローチを進めてもらいたい。

### 年度目標【視点：健康・体力の保持増進】

・生徒・保護者に対する定期的な啓発活動を行い、学校として家庭生活における基本的な生活習慣の定着に向けて取り組んでいる姿勢がよく理解できた。現状の取り組みを今後も継続して進めてもらいたい。

### 年度目標【視点：教職員の資質・能力の向上】

・単に教職員だけの取り組みだけでなく、保護者・PTAとの共催での行事を設けるなどの工夫がうかがえた。これまでと同様に今後も引き続き取り組みを進めてもらいたい。

### 年度目標【視点：学校・家庭・地域の連携の特性】

・保護者向けの学校行事（懇談会・授業参観など）・中学校訪問・学校説明会・学校ホームページを活用した校外への情報発信など、計画的にさまざまな取り組みを進めていることがよく理解できた。今後も引き続きさまざまなアプローチを進め、さらなる充実を図ってもらいたい。

### 年度目標【視点：学校評価】

・中学生・保護者・中学校教員など、受験生に対する広報活動を積極的に実施しているようすがよくわかった。また新入生に対するアンケート結果を活用して、より状況にあわせた取り組みを進めようとする姿勢も理解できた。

## 3 今後の学校運営についての意見

・学校を取り巻く環境が大きく変化する中で、誰の目からも「落ち着いた学校」と映るような運営が続けられることを期待したい。  
・本校の最大のテーマである「専門教育の充実と新たな挑戦」に向けて、校内だけにとどまらず高大連携や各種校外活動への積極的なアプローチを企画し、実現に向けて取り組んでもらいたい。

## 児童生徒等の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査の結果から明らかになった現状

## ○ 自校の取組の成果と課題

区分	成果と課題
① 暴力行為の状況等	平素より担任・生徒指導部・人権担当・部活動顧問などを中心にして、全教員が人権意識の大切さを指導している。結果としてこれまで暴力事案は発生していない。今後もこれまでと同様に指導していきたい。
② いじめの状況等	平素より担任・生徒指導部・人権担当・部活動顧問などを中心にして、全教員が人権意識の大切さを指導している。結果としていじめとして認知すべき事象は発生していない。今後もこれまでと同様に指導していきたい。
③ 小・中学校における不登校の状況等	
④ 高等学校における長期欠席の状況等	長期欠席中の生徒に対し、その理由や様態に応じて適切な対応を心がけている。そのほとんどが不本意入学者・学校不適合者・家庭内の問題を抱えた生徒である。入学以降からケアを進めながら可能な範囲での問題解決に努めたい。
⑤ 高等学校における中途退学の状況等	中途退学を希望する生徒に対し、その理由や様態に応じて適切に対応し、進路変更後の指導もおこなっている。今後も同様の指導を進めていきたい。

※ 両表とも、小学校・中学校は①②③の項目、高等学校は①②④⑤の項目、特別支援学校は学校の状況に応じた項目について、それぞれ記入すること